



感謝状授与式！（関連4P）

記事紹介

トピックス（Aコープ創業祭 他）…………… 2P  
 トピックス（ワイン用ブドウ収穫 他）…………… 3P  
 トピックス（弟子屈町当才馬共進会 他）…………… 4P  
 トピックス（たんぼぼの会講習会 他）…………… 5P  
 トピックス（飛田会長メッセージ 他）…………… 6P  
 JAグループ通信 …………… 7P  
 営農アドバイス（釧路農業改良普及センター）…………… 8P  
 DATA・理事会情報・生乳価格情報 他 …………… 9P  
 あくていブー通信(読者の広場) …………… 10~11P  
 JA INFORMATION 他 …………… 12P

**JA摩周湖**

ホームページアドレス  
[www.ja-mashuuko.or.jp](http://www.ja-mashuuko.or.jp)

Web版ではカラー写真でご覧いただけます。

メールアドレス  
[mail@ja-mashuuko.or.jp](mailto:mail@ja-mashuuko.or.jp)

ホームページへ  
 アクセス!⇒



Aコープてしかが  
創業祭

10/5  
~7

10月5日より、3日間にわたりAコープ創業祭が行われました。Aコープ前駐車場で青空市が開催されたほか、毎年恒例の餅まきも行われました。  
 去年は悪天候の影響で客足が少なかったですが、今年は天気にも恵まれ、多くのお客様で賑わっていました。今後もAコープのご利用を宜しくお願い致します。



越冬野菜即売会

10/27  
28

Aコープ前駐車場で、越冬野菜の即売会が開催されました。  
 1日目はあいにくの土砂降りとなったにも関わらず、沢山のお客様に足を運んでいただきました。2日目も盛況にも恵まれ、盛況の元開催されました。



摩周石油  
給油キャンペーン

10/5

皆様の日頃のご利用に感謝し、店頭給油されたお客様に対し、たまごのプレゼントをさせていただきます。  
 キャンペーン期間中はいつも以上に沢山のお客様にご利用いただき、誠にありがとうございました。

今後皆様にも愛されるSSを目指していきますので、宜しくお願い致します。



タイヤ・暖房機  
フェア

10/12



Aコープ前アクトにて、スタッドレスタイヤの予約販売と暖房機フェアが行われました。その場でお買い求めになるお客様やパンフレットを持ち帰る方など沢山の方が訪れました。

朝晩の冷え込みがきつくなり、道路の凍結も見られる季節となってきました。今後も随時注文を承っていますので、是非お買い求めください。



川湯の長谷川牧場にて、川湯中学校の2年生を対象に、乗馬体験が行われました。中山間事業の一環として行われたこの体験は、牧場から摩周湖までの片道6キロの山道を乗馬しながら進んでいきます。今年度も晴天に恵まれ、気持ちよく乗馬体験は行われました。

## 中学生 乗馬体験！

10/20



## ワイン用 ブドウ収穫！

10/22

屈斜路にて、「葡萄酒色の旦 2018」に使用されるブドウの収穫作業が行われました。収穫作業は、徳永町長、川口組合長をはじめ、町民の皆様や和琴小学校の生徒の手によって行われました。収穫されたブドウは、池田町のブドウ酒研究所へと送られます。

## ビート収穫！

10月上旬より、川湯・屈斜路地区にて、ビートの収穫作業が始まりました。

収穫されたビートは、中斜里の製糖工場へと運ばれ、砂糖となって全国へと出荷されます。



## デントコーン収穫！

9月下旬より、各地区にてデントコーンの収穫作業が始まりました。

今年のデントコーンは日照不足の影響等で小ぶりなものが多くなっています。収穫作業は10月下旬頃まで行われる予定となっています。



弟子屈町当才馬共進会

釧路農業協同組合連合会の牧野係長をお招きし、出品農場を巡回審査しながらの共進会が行われました。

雄の部一位及び最高位には長谷川義晃さん所有の尚太郎号、雌の部一位には守屋博さん所有の千里姫号が選ばれました。  
審査終了後には、農協三階和室にて審査講評並びに表彰式と懇親会が開かれました。



最高位及び雄の部一位:尚太郎



雌の部一位:千里姫号

雄の部 (敬称略)

出品部門	名 号	出品者
1位	尚太郎	長谷川義晃
2位	宝勝力	佐藤昭三郎
3位	竜 雅	守屋 博

雌の部 (敬称略)

出品部門	名 号	出品者
1位	千里姫	守屋 博
2位	翔 花	藤田 千代
3位	胡 桃	阪口 栄造

10/22

感謝状贈呈式

10/21

平成30年9月6日未明に発生しました、北海道胆振東部地震により道内全域で停電が発生しました。その際に、町内電気事業所・建設等事業所様による支援により、臨時電源が確保できました。そのことに感謝を表し、J A摩周湖2階応接室にて、感謝状の贈呈式が行われました。



町営牧場 退牧

10/18

弟子屈町営牧場にて、退牧作業が行われました。作業は18日から3日間に行われ、農協職員・役場職員・普及センター職員らによって行われました。春より一回り大きくなった牛たちは、各農家さんの元へと帰っていきましました。



別れが悲しいです……



会員以外にも沢山の方が来場しました!



樋口教授による講習

摩周湖農協3階大集会室にて、たんぼほの会・酪振連・乳検の合同による研修会が開催されました。講師に酪農学園大学 樋口教授と共立製薬株式会社顧問 武隈氏をお招きしました。樋口教授には「蹄葉炎の予防と対策について」武隈氏には「乳房炎について」お講習をして頂きました。講習会終了後には、和室にて昼食をとり、講師の方々と意見交換等を行いました。

## 合同研修会

10/17



武隈氏による講習



昼食時の様子

## グッドグラス

10/31

「標茶町コンベンションホールういず」にて、第6回グッドグラスが開催されました。

11時に開会式が行われた後、フォーラムが行われました。講師は北海道農政部生産振興局の斉藤氏で、「良質粗飼料：の良質を再確認」というテーマで行われました。

展示ブースも設けられ、牧草の種や、農業関連商品が展示されていて、多くの関係者で賑わっていました。

また、昨年同様に、釧路管内のサイレージを匂いや触感等から良質なものを判断するサイレージ品評も行われました。審査は、酪農学園大学 名誉教授 安宅一夫氏によって行われました。

閉会式後には餅まきも行われ、盛況のなか終了しました。



サイレージを臭いで判断!



展示ブースの様子

# 農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔章



このたびの災害により被害を受けられた皆様ならびにそのご家族の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧・復興へ向けて、JAグループ北海道は組織を挙げて全力で支援に取り組んでまいります。

さて、昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で71年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、総合事業を展開しながら今日に至っております。

例えば安全・安心な食品の生産と、豊かな生活に役立つ購買品の供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与する金融事業、総合的な暮らしの保障のための共済事業、健康な日常生活を営むための医療・福祉事業のほか、地域社会に貢献するための様々な社会的取り組みも行なわれております。

地震や風水害による大規模災害が発生した際には、各協同組合が物資の支援、ボランティアの派遣、募金活動等を展開することにより、被災地域の復旧・復興支援に大きな役割を果たしております。

本年9月の災害時にも、組合員・JA・連合会等の間における農業機械・発電機等の融通や、被災地への人的・物的支援、被災地農産物の選果受入など、組織内・外を問わない助け合いの精神による支援活動・行動に対し、敬意とともに、協同組合の力を改めて認識させて頂いたところです。

このように協同組合は社会と地域の人々の暮らしのために、永年に亘って多くの分野でその役割を發揮してきているのです。

そのような中、2016年に「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録され、更に本年4月には、我が国の農協、漁協、生協、労働金庫、森林組合等の協同組合が、協同組合間の連携によって力を結集し、地域課題の解決を目的として日本協同組合連携機構（JCA）が発足したところです。

また、第29回JA北海道大会では、前回大会で設定した将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」を継承し、「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」と「次代につなげる協同組合の価値と実践」に向けて、JAグループが一体となって取り組むことと致しました。

農業協同組合に集う組合員、役職員の皆様は、このように世界的に評価され、社会的意義のある協同組合の仲間であることを誇りとしながら、協同活動の輪（食と農でつながるサポーター550万人づくり）を広げて頂きたいと考えております。

このことが新自由主義経済への対立軸としての協同組合の存在意義を高め、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに地域社会の基盤をさらに発展させ、持続可能な農業へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

## JAグループ通信

JAグループ通信×コンサドーレ札幌

### 『北海道応援マッチ』特集号

毎月、JAグループ北海道の連合会・中央会の活動を紹介しております。今月は、平成30年9月29日に北海道コンサドーレ札幌ホームゲーム（vsサガン鳥栖戦）をJAグループ北海道と北海道コンサドーレ札幌による『北海道応援マッチ』として開催しましたので、会場での各取り組みをご紹介します。

\*JAグループ北海道は、北海道コンサドーレ札幌とともに、スポーツを通じてたくさんの方々に食や農業の大切さを伝える活動を行っています。  
9月29日のサガン鳥栖戦は、JAグループ北海道と北海道コンサドーレ札幌による『北海道応援マッチ』として開催しました。

## JA北海道中央会

来場者に全道各地のJA特産品を550名様にプレゼントする企画や、JAグループ関係のブースを回るスタンプラリー抽選会、「JA2MP」チェックインキャンペーンを実施しました。試合はコンサドーレの劇的な勝利に終わり、JAグループ北海道よりMVP賞の贈呈を行いました。

チームのさらなる活躍を期待し今後も北海道を共に盛り上げるパートナーとして応援して参ります。



## JA共済連北海道

JA共済連北海道は、地域貢献活動の紹介チラシを作成し、粗品とあわせて配布することで、交通安全を呼びかけました。

また、小さいお子さまには、ひとのわぐまのおなかを的にし、ボールを投げていただくゲームで楽しんでいただき、大盛況となりました。来場者の皆さまにJA共済連の交通安全にかかる活動を知っていただくことができました。

## ホクレン

ホクレンは来場者先着2000人に顆粒片栗粉「とろりんぱっ」を配布したほか、「ホクレン大収穫祭」の告知及び全国発送のチラシを配布し、来場者に対してPRを行いました。ブースには

北海道コンサドーレ札幌の田中雄大選手、藤村怜選手、クラブマスケットの「ドールくん」が相次いで応援に駆け付け、配布を手伝うとともに、快く握手などに応じ、集まったサポーターたちを喜ばせました。



## JA北海道信連

JAバンク北海道では、会場で「口座開設を予約して頂いた方」に抽選でコンサドーレ観戦券またはコンサドーレ・オリジナルマフラーを、「ちよリスと一緒に撮影し、SNSに投稿して頂いた方」にちよリス・ブランケットをプレゼントしました。小野伸二選手も応援に駆け付け大盛況となり、多くのコンサドーレサポーターの方にJAバンクをPRすることができました。



## JA北海道厚生連

JA北海道厚生連は、配置薬課より「野菜酵素青汁（トマトリコピン配合）」の配布を行い、JA配置薬のPRを実施しました。

ブースには、前選手も駆けつけ、多くのコンサドーレサポーターの皆様が集まっていた大盛況となりました。

今後も、北海道コンサドーレ札幌の活躍を応援していきたいと思えます。



## 営農アドバイス



釧路  
農業改良普及センター

### 優良農家3戸の特徴

- A氏**：牛体が非常にきれい  
麦稈を1日3回入れる
- B氏**：牛体がきれい  
ミルカー装着まで2.5～3分かかっているが、その間に乳頭を徹底的に綺麗に清拭している
- C氏**：こまめな除糞の実施  
搾乳は前搾り無し！
- 共通**：牛体がきれい  
ライナーズリップほぼ無し

十四農場中体細胞数が十萬未満の優良農家の特徴は次の通りです。  
搾乳手法は、決して良いわけではありませんでした。

### 優良農家の特徴

十四戸の搾乳立会を実施し、調査する二十項目を点数化しました。見る人による違いを減らすため大雑把な配点としました。

### 取り組み内容

道内のある地域で、搾乳立会の結果を数値化した取組を紹介します。

## 乳房炎にご注意を！ 「乳頭の衛生管理」②

### 搾乳立会調査から

表1 搾乳立会調査の管理項目別比較結果

	14戸平均	体細胞数ランク別※		差
		高農家平均	低農家平均	
全平均**	2.33	2.06	2.70	0.63
衛生管理	2.29	1.94	2.75	0.81
搾乳方法	2.32	2.18	2.51	0.33
飼養管理	2.40	2.04	2.89	0.85
体細胞数(万/ml)	19.10	25.63	10.39	

※ 体細胞数の高・低基準は、20万/mlとした  
※※ 1点：要改善、2点：普通、3点：優良

搾乳立会を実施した一四戸の点数を管理項目別に体細胞数が低い農家と高い農家と比較しました(表1)。  
すると、「飼養管理(粗飼料)」と「衛生管理」で差が大きくなりました。「搾乳手法」については、差が小さい結果でした。

### なぜ空気流入が問題か？

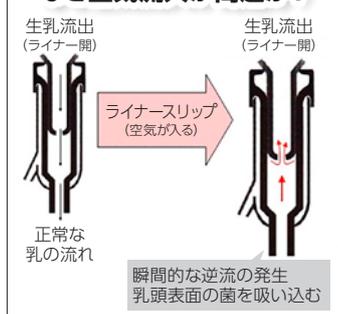


図2 瞬間的な逆流と細菌吸い込み

ライナーズリップが起ると、陰圧が下がって、瞬間的に乳汁の逆流が起こります。その逆流に合わせて、乳頭口付近の細菌と一緒に乳頭内に侵入します(図2)。特に搾

### ライナーズリップは危険

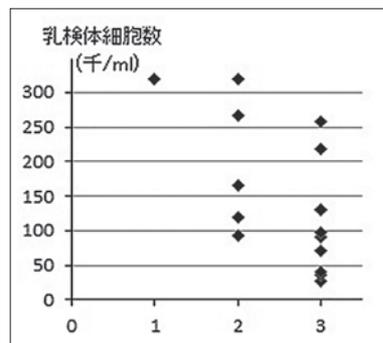


図1 牛体の汚れと乳検体細胞数

### 牛体の汚れと体細胞数

D農場で牛体の汚れと乳検体細胞数を調査したところ、牛体の綺麗な牛は体細胞数が低い傾向でした(図1)。

### まとめ

- ✓乳質改善では、搾乳手法よりも、牛体・乳頭の衛生管理が最も重要
- ✓乳頭・乳頭口の清拭を徹底すれば、体細胞数は削減できる。

◆推奨されている搾乳手法は乳質には影響が少ないが、**乳量に大きく影響する**ため誤解の無いように!

「乳頭・乳頭口の清拭を徹底すれば、体細胞数を削減できる」と仮説を立てて乳質改善に取り組んだところ、実施した四戸とも体細胞数を削減することができました。(右表参照、体細胞数は立会前後6ヵ月平均値)

農家名	体細胞数(万個/ml)	
	搾乳立会前	立会后
E	11.8	8.9
F	23.3	16.5
G	15.4	11.9
H	33.1	27.6

### 実証

乳後半の乳汁が勢いよく出ていないときの逆流は、細菌を押し出せないため致命傷です。乳頭口の清拭が甘い場合どうなるかは容易に想像できません。

DATA▶行事予定	DATA▶組合員	DATA▶職員
11月12日 摩周厚生病院運営委員会 13日 JA北海道大会実践フォーラム 15日 摩周石油監査第3四半期末監査 16日 年金友の会総会（～17日） 19日 第3四半期末自治監査（～22日） 20日 コンプライアンス・メンタルヘルス研修会 22日 Aコープ秋の大展示会（～23日） 23日 勤労感謝の日 26日 摩周石油取締役会議 27日 帯広厚生病院新築落成式・祝賀会 農業委員会総会 28日 ホクレン澱粉産地代表者会議及び北海道澱粉工業会第1回役員会 29日 第10回定例理事会	《脱退予告》倉田 実（准）  《当然脱退》石田 忠義（准）  平成30年10月17日現在の 組合員数 総組合員数 694名 正125名 准569名	平成30年10月25日現在の 職員数は 総数 119名 内 男 71名（パート含） 内 女 48名（パート含）

## 自動車共済 クルマスター

新車購入や車検の際は『JAの自賠責共済』を！

**JA共済オリジナル  
自賠責共済セット**

「自賠責共済」と「自動車共済」  
セットでご加入されると

対人賠償の  
共済掛金が **7%**  
割引かれます！

※申し込むとする対人賠償付契約の責任の始期日を共済期間に含む自賠責共済が締結されているなど所定の条件があります。

**第9回  
定例理事会 10 / 25**

主な内容は次のとおり  
 ○各種資金の借入・貸付につ  
 いて（フルスペックローン  
 1件）  
 原案通り承認されました

### 編集雑記

10月頃から一気に朝晩の冷え込みが厳しくなってきましたね。体調管理に一層気を付けなければならぬ季節になりました。

私が小学生の頃、7時過ぎに家を出て、休み時間にはグラウンドでキックベースをして、放課後は部活に行って日が暮れるまで野球をして、という生活をしていました。今思うと恐ろしいほどにタフであったと思います。ところが現在とはとうとう、季節の変わり目の温度差で風邪をひき、少し疲労がたまる風邪をひき、ほんとうにしょうもないと自分に嫌気がさします。

子供の頃はいくら激しく活動しようとしても、未だに実家に帰るとわがママを言ってしまう浅はかなK池でした。

家から小学校まで遠かったため、車で送ってくれない母にブチ切れ、嫌いな食べ物を出してくる母にブチ切れ、部屋を汚すなど注意されて逆切れしていた浅はかな小学生の自分に、母の大切さを論じてあげたいです。

9月の乳価・乳量・乳成分			
区分	当 J A	釧路管内	全 道
平均乳代	93.3円	93.3円	92.7円
補給金単価	7.4円	7.4円	7.4円
合計平均乳価	100.7円	100.7円	100.1円
平均脂肪率	3.96%	3.95%	3.90%
平均無脂固形分率	8.74%	8.76%	8.75%
9月乳量 <前年同月比>	4,023.9t <89.2%>	39,339.0t <92.4%>	291,075.9t <94.8%>
累計乳量 <前年同期比>	27,631.9t <99.1%>	267,734.5t <100.1%>	1,936,507.4t <101.3%>
脂肪率単価 1%当り	9.35円	無脂固形単価 1%当り	5.92円

◎ 9月体細胞数30万 / ml以下の比率

	上 旬	中 旬	下 旬
当 J A	56.5%	92.7%	95.1%
釧路管内	91.5%	98.4%	99.2%

※各旬の%は旬検査時のローリー車単位の乳量での比率です

商品券が  
当たる!

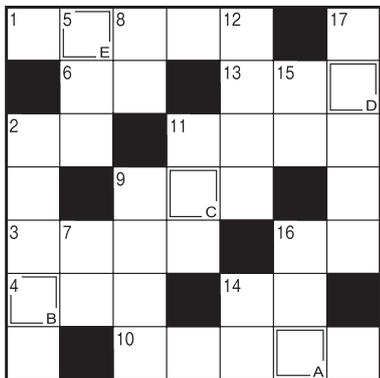
# あくていブー通信

※商品券引換券は  
郵送となります。



アクティブJA編集委員会では、読者の皆様からの情報をお待ちしています。ご意見や身近なできごと、イラストなどどんなことでも結構です。何でも書いて送ってネ!

引換の際は二階事務所管理課まで引換券をご持参ください。



(出題) ニコリ

A～Eの二重ワクの文字を順に並べて出来た言葉が答えです。正解者の中から抽選で5名の方に商品券引換券をプレゼント。どしどしご応募ください。(締め切りは11月20日です。)

### ★応募方法

折込の応募ハガキ(官製ハガキも可)に答えと住所、氏名、電話番号と「ActiveJA」に対するご意見やイラスト、その他どんなことでも結構ですので、お便りを添えて郵送かFAX(482-3196)でご応募下さい。尚、Aコープレジの後ろに応募箱を設置しておりますのでお買い物の際にご利用ください。

### ①タテのカギ

- ② 磐梯山の南側にある——湖
- ⑤ タマヂシャとも呼ばれる野菜
- ⑦ 建物の壁を覆うこともある植物
- ⑧ 悪の反対語
- ⑨ 歳末大売り出しの——で2等が当たった
- ⑪ 陰暦12月の異称
- ⑫ 自動車の荷物を入れるところ
- ⑭ 洗濯物をぶら下げます
- ⑮ 棋士が打つもの
- ⑯ 腰に巻いてバックルで留めます
- ⑰ 賛成する人が多い意見を採用すること

### ②ヨコのカギ

- ① サンタさんが靴下に入れてくれるかも
- ② 腰を掛ける家具
- ③ 自動車を洗ってからかけます
- ④ プームが去った状態です
- ⑥ 牛や豚などの舌の肉
- ⑨ 15歳が志学、30歳が而立(じりつ)なら40歳は
- ⑩ 肉や魚を裁断したときに出る余りのところ
- ⑪ 赤——だから青になるまで待とう
- ⑬ カレー—— ハヤシ——
- ⑭ 地獄谷にいるものは温泉に入ります
- ⑰ それとこれとは話が——だよ

CROSSWORD-PUZZLE クロスワードパズル LETTERS お便り(敬称略)

★応募先: 〒088-3211 弟子屈町中央3-7-12 JA摩周湖管理課プレゼントクイズ係

## 10月号の正解は!!

A B C D E  
バ シ ユ ウ  
でした

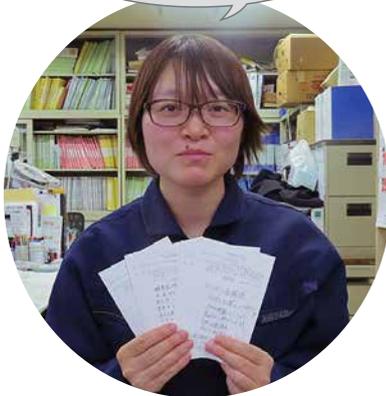


## 2018年10月号 クロスワードパズル 当選者発表

- 増田 信子(中央)  
増子みゆき(美里)  
下川千代子(鈴蘭)  
菊地 カツ(泉)  
池田 二美(鶴居)

応募者42名中42名正解、抽選の結果、左の5名の方が当選しました。後日商品券引換券を郵送いたします。おめでとうございます。(敬称略)

体調管理に  
気を付けて下さい!



今回は、わたし、  
久我 果奈  
(販売課 改良係)  
が抽選をしました。



# INFORMATION

## ジェイエー・インフォメーション

### Aコープてしかがセール情報 (11月)

日	月	火	水	木	金	土
おにぎりの日	おからの日	カレーの日	生寿司の日	コロッセの日	キンピラの日	唐揚げの日
	12	13	14	15	16	17
	独自日替り	日替り得の市		木曜特版	週末感謝祭	
18	19	20	21	22	23	24
独自セール	日替り得の市		ダイナマイト2Days		週末感謝祭	
25	26	27	28	29	30	
独自セール	日替り得の市		水曜特版	月末感謝祭		

チラシのない日も、目玉品他店頭発表しておりますので、是非ご来店ください。



# 秋の大展示会開催!

毎年恒例、  
秋の大展示会の季節がやってまいりました!  
衣料品を始め、家電製品や化粧品など  
お買い得商品が展示販売されます。

**開催だぶー!**

日付 **11月22日(木)**  
**23日(金)**

会場 **JA摩周湖  
3階大集会室**

**ぜひ一度足をお運びください**

Aコープてしかが

### 徒然月報 ◆霜月号◆

今年はずっと酷暑や長雨、台風に巨大地震など、いわゆる「異常気象」が連続した1年であったと思えます。我々農家は自然と向き合っていかなければならないため、とても苦労させられました。

「異常気象」とはいうものの、ここ数年は毎年のように「異常気象」とテレビや新聞を賑わせているような気がします。もはやこの気候こそが日本の普通の気候にな

りつつあるのかもしれない。農業だけに限った話ではなく、日常生活でも非常事態に對し備えを講じておくことの大切さは今回の地震で十分に感じているところです。雨が続いていても、気温が上がらなくても、消費者の皆さんに安心安全で美味しい食料を届けられるよう、万全の準備を期して農業を営んで行こうと思います。

【H・S】